

ふれあい

学校教育目標

「やさしく かしく たくましく

自分のよさを生かして

未来を創ろうとするしゃちっ子」の育成

令和6年8月28日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする

アップデートしよう（未来を創る子どもたちのために）

どんな夏休みだったかな 一人一人ちがうので…

夏休みに入ってから、気温がぐんぐん上がり、大変暑い夏休みとなりました。そんな暑い中でも、外で元気に遊んだり、スポーツに励んだりした子どもたちがいたことでしょう。また、芸術活動や自由研究、学習に勤しんだ子どもたちもいたでしょう。楽しみ方というのは一人一人違うので、それぞれの子どもたちが満足する瞬間を感じて、夏休みを過ごしていたらいいけどなあと思っていました。どうでしたでしょうか。夏休み期間中に大きな事故や事件に巻きこまれたということもなく、みんなが無事だったことを大変うれしく思います。夏休みが明けても、暑いのにには変わらないようで、登下校や学校での外での活動、休み時間など心配です。十分に気を付けていきたいと思います。



さて、夏休みが明けると、教育実習があり、前期が終了します。そして、運動会があります。大きな行事だけでなく、小さな行事もあり、一つ一つを楽しみにしている子どもたちもたくさんいるでしょう。9月からも「愛でいっぱいの学校」「学びでいっぱいの学校」「遊びでいっぱいの学校」目指して、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

教育実習が始まります どんな先生たちに出会うかな…

8月29日より教育実習が始まります。2週間程度の実習と4週間程度の実習がありますが、各学級3名ぐらいの実習生がお世話になります。夏休み中の19日に事前指導として、担任や教科担任との打ち合わせを行ったり計画を立てたりしました。私も大学時代に本庄小学校で4週間と附属中学校で2週間実習をしました。今振り返ると子どもたちと触れ合うのが楽しかったなと思ひますが、初めての授業でうまくいかなかったり、担当の先生に叱られたりしたこともありました。しかし、実際に現場で（一部分ではありますが）、授業を行ったり学級事務を行ったりすることはたいへん大きな学びになりました。また、教師になりたいという気持ちも強くなりました。実習期間中は、いろいろと不手際等があったりご迷惑をおかけしたりすることもあると思いますが、未来の教師の卵を育てることは附属小学校の大きな使命でありますので、温かい目で見守ってください。



防災について考える日 いつ起こるかわからないからこそ…

台風が近づいてきています。これまでの台風と比べると予報が刻々と変化し、気づくと「九州上陸」となりそうです。また、温かい海の上を通過しているので、勢力が増して上陸となりそうです。台風は進路方向の右側の被害が大きいと言われますが、非常に強い台風ですので心配です。大きな被害が出ないことを祈るばかりです。さて、9月1日は防災について考える防災の日です。本日子どもたちには災害用非常食の五目御飯を配付しています。これは学校に災害用として保存していたものです。台風も近づいていますので、防災について考えながら味わってほしいと思います。

